

# Counseling Room

家庭問題カウンセリングルーム

## 第155回

公益社団法人  
家庭問題情報センター はせがわてつや  
長谷川 哲也

## 親の離婚を経験して

孝史（仮名）さん（29歳）は、妻と子ども（3歳と1歳）の家族4人で平穏に暮らしていました。孝史さんが小学5年生のときに、母親と離婚して家を出たきり全く会っていません。孝史さんと先日、親戚の葬儀で再会、忘れていた父親に対するマイナスの感情が強く沸き起こって整理がつかなくなり、相談に來られました。

**孝（孝史）** 先日、親戚の葬儀があつてそこで20年ぶりくらいで父と顔を会わせたのです。

**カ（カウンセラー）** ずいぶん長い間会っていなかったのですね。

**孝** 父と母は私が小学5年生のときに離婚し、私と小学1年生の妹は離婚後は母に育てられました。父母が不仲なのは分かっていましたが、ある日突然、父が家に帰ってこなくなり、そのうち父の荷物が無くなりました。それから会っていませんでした。

**カ** ご両親が離婚し、急にお父様がいなくなつたということですか。

**孝** はい。母からは「父と離婚したので、これからは3人で暮らす」と言われましたが、それ以外は何の説明もしてくれなかつたのです。父がどこに行つた

のか、父に会えるのかなど聞いてみたり、気持ちはありませんでしたが、母には何か聞いてはいけない雰囲気があり、聞かせませんでした。

**カ** お父様がどうしたのか、これからお父様との関係がどうなるのか気になつていたのでね。

**孝** 父とは一緒に釣りに行くなど、普通の仲でしたので、私としてはそれなりに慕つていたと思います。

**カ** そうなのですね。

**孝** 父のことは、こどもながらにずっと気になっていましたし、時々寂しいと思つこともありました。父から手紙とか電話は来ていないのかなと思つていました。

高校1年生のころ、具体的な進路を考へるにあたって、家計のことが気に

なり、思い切って母に聞いてみました。すると、母からは母の実家の援助があるから何とか普通にやっていると聞かれました。そのときに、父から養育費等は一切もらっていないと聞いたのです。

**カ** そうなのですか。

**孝** 私は驚いて「どうしてか」と聞きました。すると母は「離婚の際、こどもたちには一切会わせない、養育費ももらわないという約束を父母の間でした」といふのです。これを聞いてとてもショックを受けました。父は私と妹をあっさり捨てたのか、また両親の間でそのような取り決めがされたのかとびっくりしました。

**カ** それは大変なショックでしたね。

**孝** それからは、自分の力でやっていく

しかないと思い、進学先も学費の安いところに絞り、頑張りました。そして苦学して念願の企業に就職し、大学で知り合った妻と結婚し、こどもも授かり、私なりに今充実した生活を送っていたのです。

**力** 努力してご自身の人生を切り拓いてこられたのですね。

**孝** 父との関係は途絶えていましたが、私と年齢の近い父方のいとこと行き来がありました。いとこと会った際、父のことが話題になり、最近、家を新築したとか、車を買ったとか、元氣だということは聞いていましたが、正直、あまりいい気持ちはしませんでした。

**力** (うなずく)

**孝** 最近、そのいとこの親が亡くなったのです。知らせを受け、ちょっと迷いましたが、私だけ葬儀に参列することにしたのです。

**力** そこでお父様と再会されたのですね。

**孝** 私に気づくと父の方から親しげに話しかけてきました。「立派になったな」と嬉しそうに話をするのですが、私の方は逆に「一体何だ」という怒りが沸き上がりました。そして「私と妹を捨てておいていい気なものだ。自分はけっこうな暮らしをしているようだが、これまで私も妹もどれだけ苦労し

たか、寂しかったか分かっているのか！」と言ってしまう。父はびっくりにした顔をして「自分は婿養子だった」とか「親同士では了解していた」などと、しどろもどろに話していましたが、私は感情に任せて「親としての責任をどう取るつもりなのか！」と詰め寄ってしまったのです。

**力** 気持ちを抑え切れなかったのですね。

**孝** はい。私自身が親になり、子育て真っ最中であることも関係していたかもしれません。こどもに対して、よくそんな仕打ちができたなという……。

**力** それからどうされましたか。

**孝** 近くにいた親戚が間に入ってくれて、その場は収まり、今度改めて父と会うことになりました。そのときは興奮していて「責任を追及してやる」といった意気込みだったのですが、その後、冷静になると、父親と今更会ってどうするのかという気持ちになってきたのです。そこで気持ちを整理するために、少し話を聞いてもらおうと思ってきました。

**力** そうだったのですね。一通り話をされてみて、今はどんなお気持ちでしょうか。

**孝** 父親とどう向き合ったら良いのか、私は迷っているのだと思います。

**力** ご両親が離婚するときにこどもだった孝史さんは、十分な説明もなかった

し、また積極的に話を聞ける機会もなかったことから、よく分からないまま父親との関係が途絶え、お父様に対する気持ちも整理がつかないまま、今日まで生きてしまったということなのでしょう。それが今になってお父様との関係をどうするのかという課題に……。

**力** そうですね。

**孝** 正解はないと思います。孝史さんご自身で今後のお父様との関係はお決めたくなっていくことだと思います。焦る必要はないのではないのでしょうか。

**孝** 少し安心しました。妹とも相談し、落ち着いて父と向き合ってみたいと思います。

未成年のときに親の離婚を経験したこどもは、それにより様々な影響を受け、またいろいろな思いを持つものです。喪失感を持つ場合もあれば、父母の争いから解放されたという思いを持つ場合もあるでしょう。

孝史さんの場合は、離婚について説明を受けなかったり、気持ちを聞いてもらえなかったりして、大人になった後でも気持ちの整理がつかないままだったようです。親がきちんとこどもと向き合うことの大切さを改めて感じました。

